

A photograph of a modern kitchen with a blue overlay. The kitchen features a white countertop, a stainless steel range hood, and light-colored cabinetry. A large window on the left shows greenery outside. In the background, there is a dining area with a wooden table, chairs, and a sofa. The blue overlay contains the following text:

タカラスタンダード株式会社

2022年3月期 第2四半期

決算説明資料

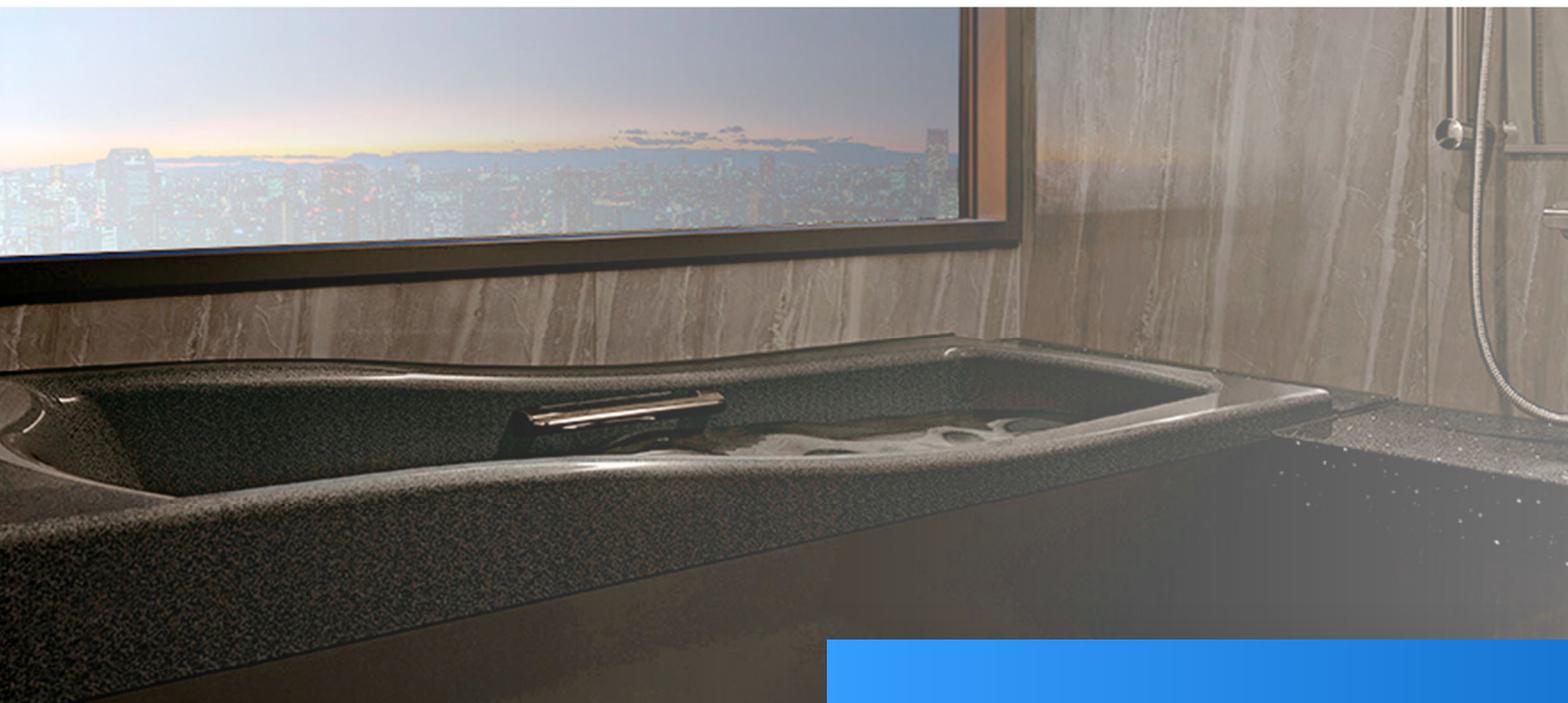
2021年11月4日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

Takara standard

1. 2022年3月期 第2四半期 決算概要 P. 2 ~ 12
2. トピックス P.13 ~ 20



水まわりって、大切だから
Takara standard

2022年3月期 第2四半期 決算概要

売上高は過去最高を達成、営業利益は前年の2.1倍

新しい生活様式の浸透に伴い、リフォームにおける売上高が大きく伸びたこと、なかでも中高級シリーズが好調に推移したことにより**増収増益**となった。
なお売上高、営業利益ともに業績予想(9月28日 修正発表)を上回った。

【売上高】 1,016億円 前年同期比 13%増 業績予想比 101.6%

リフォーム向けは前年に比べて大きく増加し、また新築向けも順調に推移したことから、第2四半期累計で過去最高の売上高となった。

【営業利益】 77億円 前年同期比 114%増 業績予想比 110.2%

比較的利益率の高いリフォーム向けが大きく伸びたこと、また経費削減の取組みが効果をあげたことにより、営業利益を押し上げた。

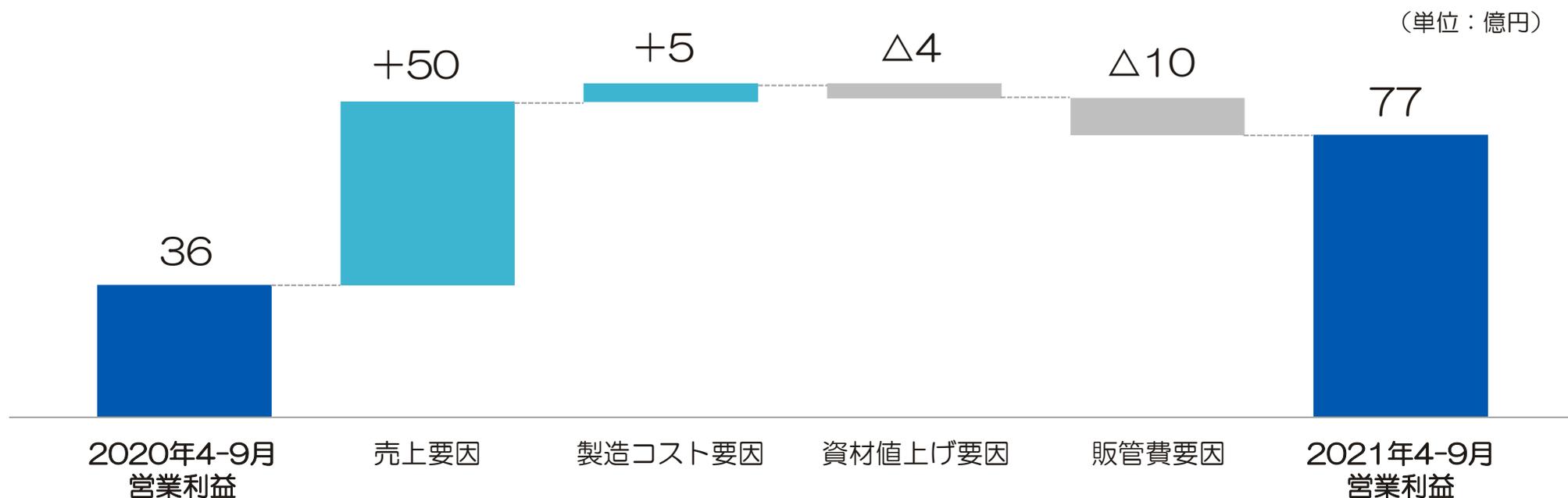
(単位：億円)	2020年4-9月 (※)		2021年4-9月				2021年4-9月 業績予想 (9月28日修正)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	業績予想比
売上高	899	100.0%	1,016	100.0%	+116	+13.0%	1,000	101.6%
売上総利益	320	35.6%	371	36.6%	+51	+16.2%	—	—
販売費及び 一般管理費	283	31.6%	294	29.0%	+10	+3.8%	—	—
営業利益	36	4.0%	77	7.6%	+41	+114.0%	70	110.2%
経常利益	38	4.3%	79	7.9%	+41	+107.0%	72	110.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25	2.8%	54	5.3%	+29	+115.8%	47	115.4%

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を当連結会計年度の期首から適用しており、2020年4-9月に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

営業利益の増減要因

Takara standard

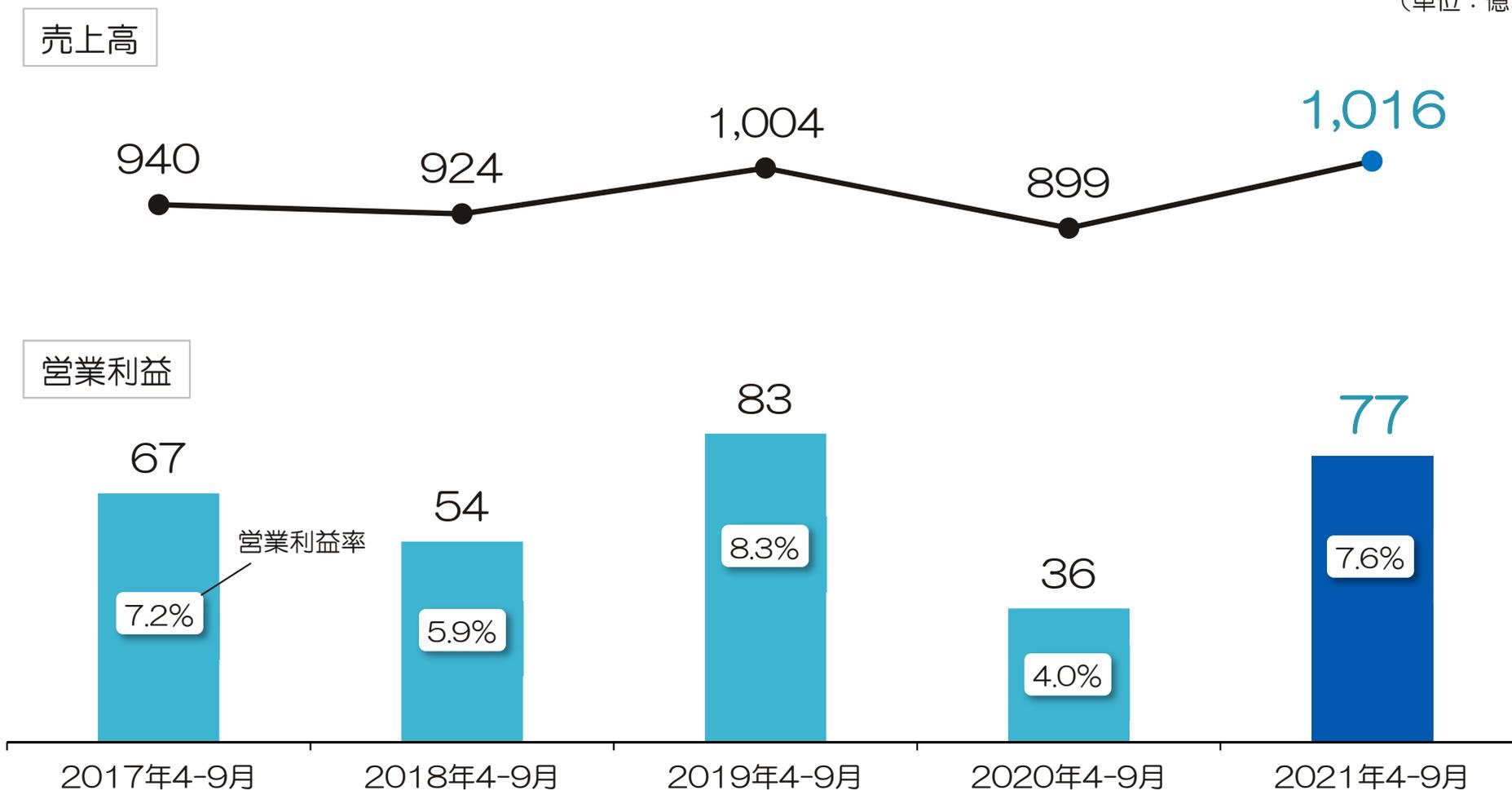
(単位：億円)



売上要因	比較的利益率の高いリフォーム向けが大きく伸び、特に中高級シリーズが好調であった。また新築向けにおいても順調に推移した。
製造コスト要因	生産量増加に伴う生産効率の改善や、合理化投資による生産性向上が製造コストの削減に寄与した。
資材値上げ要因	主要資材である鋼板、ステンレス、樹脂原料の市況値上がりによりコストアップとなった。
販管費要因	WEB会議の定着による出張旅費抑制など、経費削減の取組みにより販管費率は大幅に低下したが（前期 31.6% → 当期 29.0%）、売上の増加に伴い販管費は増加した。

売上高 及び 営業利益の推移

(単位：億円)



※「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2019年4-9月以前は簡便的に遡及した数値を記載しています。

新設住宅
着工戸数

49.6万戸

49.1万戸

46.6万戸

41.4万戸

44.5万戸

製品部門別の売上高

主要3部門とも好調に推移。

キッチン部門はホーローシステムキッチン「トレーシア」を中心に12.3%増加し、浴室部門では2021年2月に実施したパネルデザインの強化が好評で21.7%の大幅な増加となった。

(単位：億円)	2020年4-9月		2021年4-9月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	543	60.4%	610	60.1%	+67	+12.3%
浴室	195	21.7%	237	23.4%	+42	+21.7%
洗面化粧台	104	11.6%	111	11.0%	+7	+7.0%
その他共計	899	100.0%	1,016	100.0%	+116	+13.0%

台数増減率	
当社	キッチン・バス工業会(※)
+5.2%	+2.8%
+18.6%	+11.6%
+4.1%	+5.8%

※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバスの戸建住宅合計、洗面化粧台合計の対前年増減率を記載

【内数】

パネル関連売上	24	2.7%	28	2.8%	+4	+16.4%
---------	----	------	----	------	----	--------

新築、リフォームともに前年を大きく上回った。特にリフォーム向けは新しい生活様式の浸透に伴うリフォームニーズの高まりにより25.6%伸び、構成比は34.9%に増加した。

(単位：億円)	2020年4-9月		2021年4-9月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新 築	568	63.2%	611	60.2%	+43	+7.6%
リフォーム	282	31.4%	354	34.9%	+72	+25.6%
その他共 計	899	100.0%	1,016	100.0%	+116	+13.0%

貸借対照表

2021年9月末の総資産は 2,686億円、前期末比 100億円の増加。

(単位：億円)		2021年 3月末	2021年 9月末	増減	主な要因
資産	流動資産	1,487	1,592	+104	現金及び預金 +37 売上債権 +40
	固定資産	1,098	1,094	△4	
資産合計		2,586	2,686	+100	
負債	流動負債	629	685	+55	仕入債務 +44
	固定負債	203	203	△0	
負債合計		833	888	+54	
純資産合計		1,753	1,798	+45	利益剰余金 +41
負債純資産合計		2,586	2,686	+100	

キャッシュ・フローの状況

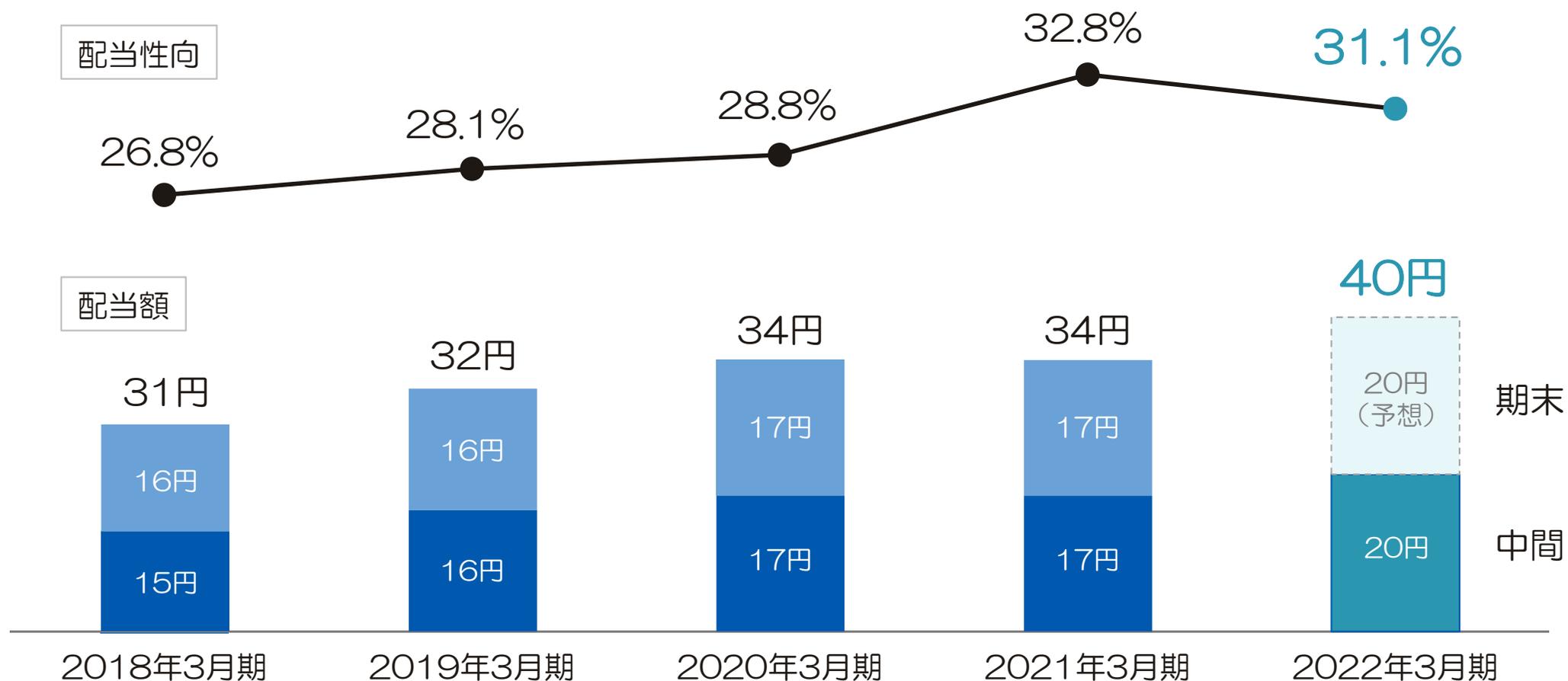
営業活動による資金の増加は77億円となり、投資活動に27億円、財務活動に12億円それぞれ支出し、四半期残高は784億円となった。

(単位：億円)	2020年 4-9月	2021年 4-9月	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	746	747	
営業活動によるキャッシュ・フロー	※ △20	77	税金等調整前四半期純利益 78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28	△27	有形固定資産の取得による支出 △29
フリーキャッシュ・フロー	△49	49	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12	△12	配当金の支払 △12
現金及び現金同等物の四半期残高	684	784	

※2020年4-9月の営業活動によるキャッシュ・フローには、退職給付信託の設定による支出50億円が含まれております。

配当の状況

2022年3月期の中間配当は 20円。
期末配当は 20円とし、年間 40円（6円増配）を予定。

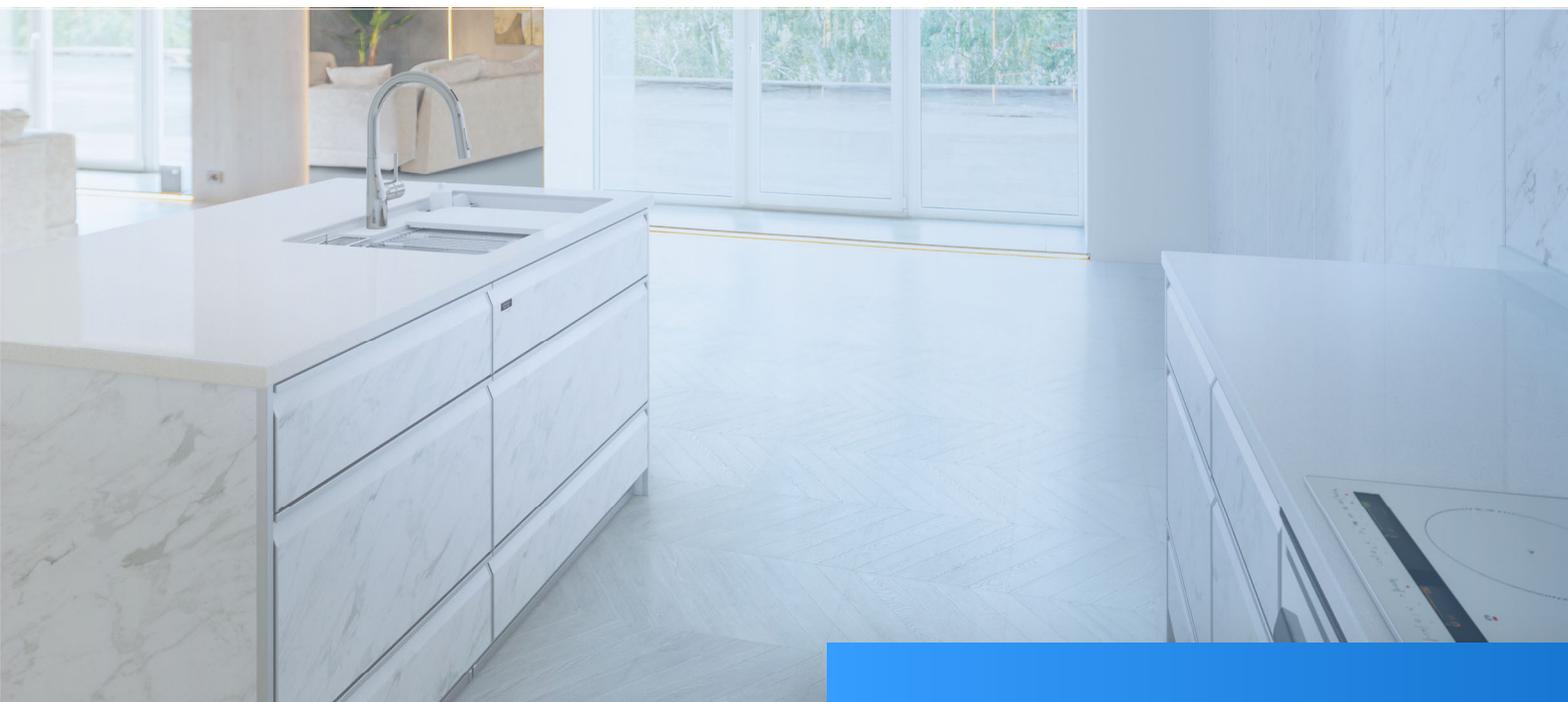


当期の業績予想は、第2四半期累計期間の業績動向および足元の事業環境を踏まえて下記の通り計画。

(2021年5月14日公表の業績予想を9月28日に上方修正しております)

(単位：億円)	2021年3月期 実績 (※)	2022年3月期 予想	増減	増減率
売上高	1,912	2,023	+110	+5.8%
営業利益	109	140	+30	+27.7%
営業利益率	5.7%	6.9%	+1.2P	—
経常利益	113	144	+30	+26.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	75	94	+18	+23.9%

※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を当連結会計年度の期首から適用しており、前期実績(2021年3月期)に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。



水まわりって、大切だから
Takara standard

トピックス

商品力の強化 ホーローシステムキッチン「レミュー」

Takara standard

フラッグシップモデルの「レミュー」に、焼き物調や金属錆調などをインクジェット印刷にてリアルに表現する、マット仕上げの扉柄を新たにラインナップ。



「灰緑」(はいみどり)
本物の陶器をモチーフに
焼き物特有のムラや貫入
の風合いを表現。



「ラスティブラウン」
長い時間をかけて味わい
深く表情を変えてゆく錆。
そんな金属の移ろいを表現。

商品力の強化 「らくエルシンク」

Takara standard

小物置きやごみポケットをシンク内に付属するL型バーのお好みの位置にセットできるなど、利便性が高いステンレス製の「らくエルシンク」を新発売。



L型バーで家事が“らく”になる



大きなフライパンがゆったり洗“エル”



きれいキープ

商品力の強化 洗面化粧台 「コンパクト手洗い」

Takara standard

玄関横などのスペースに設置でき、帰宅後すぐに手洗い・うがいをしたいというニーズや、来客時の利便性向上などによるセカンド洗面への需要を受けて新発売。



ボウルはホーローでできており、アルコールや消毒液での拭き掃除が可能で、お掃除しやすく、いつまでも清潔にお使いいただけます。

カウンターには抗ウイルスメラミンを採用し、消毒液を使用した拭き掃除にも強さを発揮。さらに抗菌機能も兼ね備えています。

浴室のパネルデザインをリニューアルし、新たに24種類をラインナップに追加。
ホーローへのインクジェット印刷という独自の技術により、精細なデザインを実現。



大自然に磨かれた大理石のような重厚感「ジオマーブルモスグレー」



天然石の質感「テラノーホワイト」× 木目柄「ウォルナットミディアム」



深みある緑が癒しを与える
「ノルディックグリーン」



個性的な柄がモチーフ
「デニムブルー」

天然石の自然な風合いや、コーディネートをお楽しみいただけるカラーなど、さまざまなお好みに合わせ、パネルをお選びいただけます。

WEBコンテンツの拡充

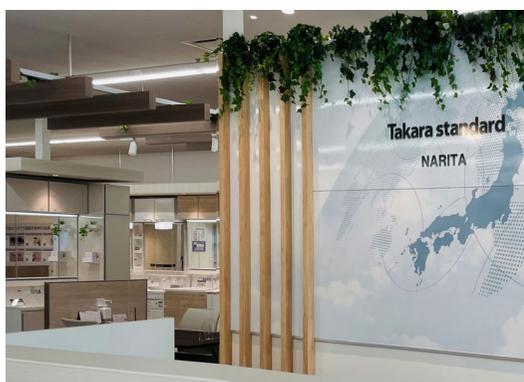
- 360° 見渡せるバーチャルショールーム
- VR機能を搭載したカラーシミュレーション
- WEB予約システム



WEB活用によりショールーム来場を促進

ショールームの充実

当期のリニューアル例

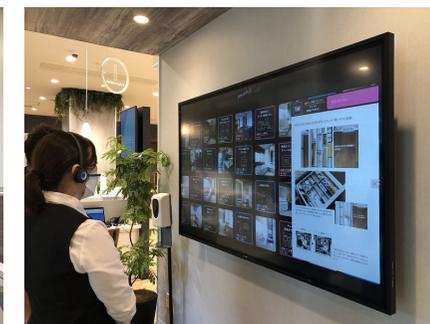


成田ショールーム
(2021年9月)



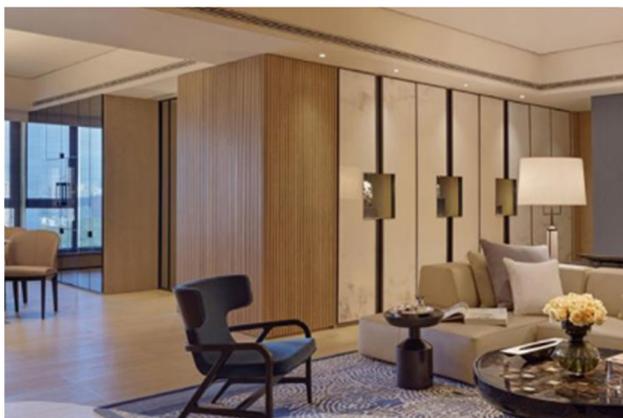
大阪HDCショールーム
(2021年9月)

2.5cm刻みのサイズオーダーによる浴室空間の広がりを感じられるデジタルコーナーや、展示情報を映像や画像でご覧いただけるタッチ式の大型モニターを設置。



水分や汚れ、熱、衝撃に強い「ホーロー」を訴求し、アジア各国にて販売活動を展開。

〈中国〉 北京の集合住宅にホーロー内装材
エマウォールを納入



〈台湾〉 台中市に現地販売店のショールームが
オープン



ホーローならではの高い耐久性・清掃性・利便性・デザイン性により、住宅、非住宅を問わず様々なシーンにご活用いただけます。

住宅空間の施工例



非住宅空間の施工例



＜ IRお問い合わせ先 ＞

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL

06 - 6962 -1502

E-mail

zaimu@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、2021年11月4日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。